

一緒に始めませんか、あなたの挑戦も応援します！ ～共に創る これからのふくろい～

発行日：令和7年11月4日
発行者：袋井市企画政策課

第3次総合計画「基本計画」答申

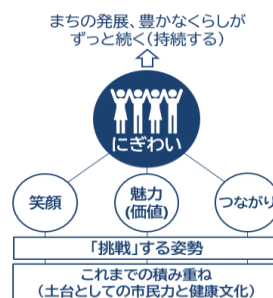


これからの「まちづくりの設計図」
人口減少社会への適応、にぎわいの創出など
施策体系の刷新や行政経営基盤の強化

袋井市3次総
前期計画を答申
審議会、市長に

袋井市総合計画審議会
(会長・鈴木滋彦県立農林
環境専門職大学長)は29日、
第3次市総合計画(202
6～35年度)の前期基本計
画の審議結果を大場規之市
長に答申した。

2025.10.30
静岡新聞



市の諮問機関である袋井市総合計画審議会(鈴木滋彦会長)は、昨年6月から全11回にわたりワークショップを交えた専門的かつ集中的な審議を実施。

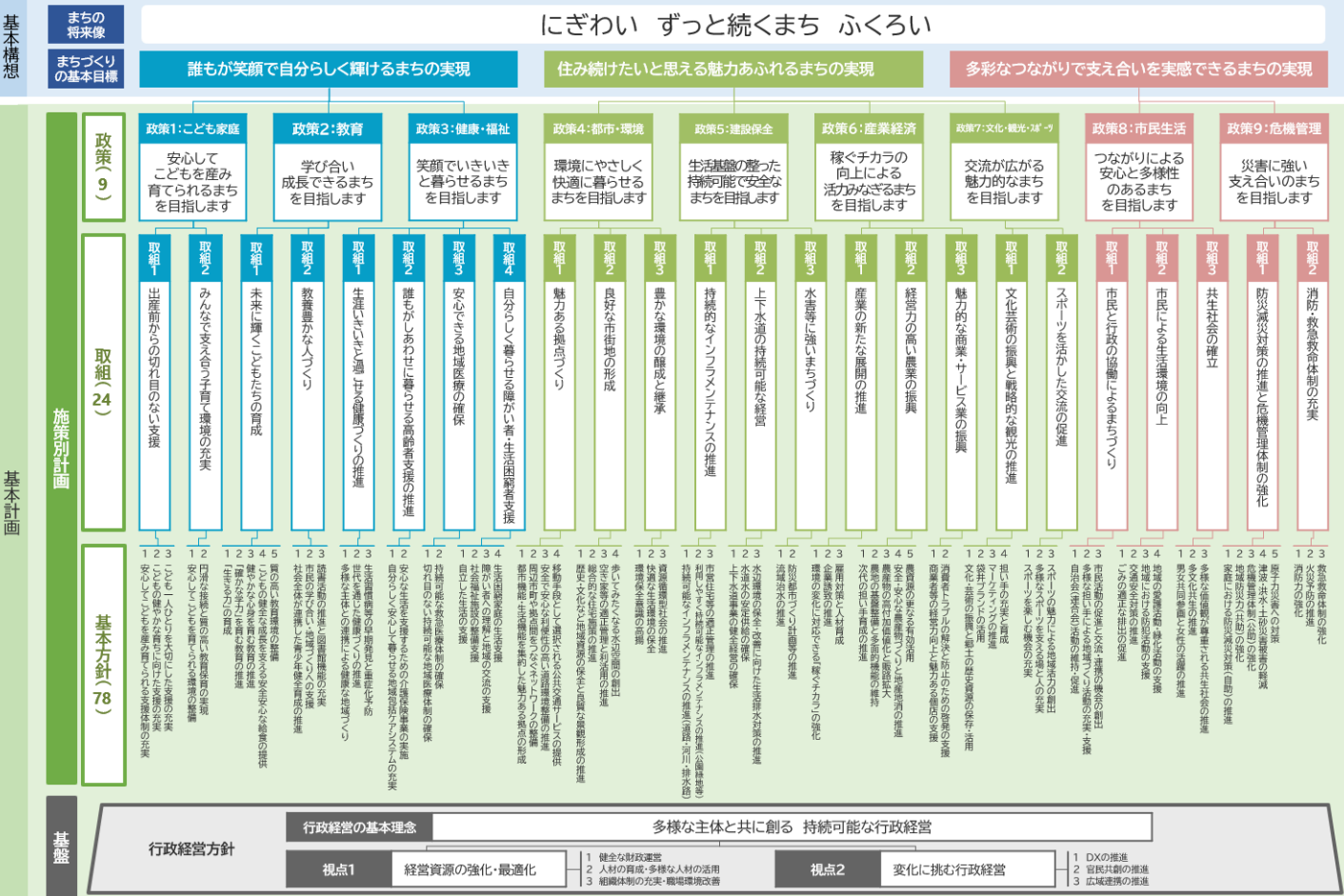
まちの将来像「にぎわい ずっと続くまち ふくろい」の実現に向けた施策の方向性や行政経営方針などを定める基本計画をとりまとめ、10月29日大場市長に答申書を提出いただきました。

基本計画の全体像や計画のポイントは…
～ 裏面参照 ～

総合計画の前期基本計画の審議結果を答申した鈴木会長(右から2人目)ら。袋井市役所

答申では、基本構想で定めた将来像「にぎわい ずっと続くまち ふくろい」の実現に向け、「にぎわい」家庭・「産業・経済」などの9政策を設定。政策に対応した24種の取り組みと78種の基本方針をまとめた。行政経営方針を総合計画と一体化し、各施策の推進を支える基盤の強化にも取り組むとした。

市役所で大場市長に答申書を手渡した鈴木会長は「まちの発展と豊かな暮らしが続くよう、持続可能な行政経営に努めていただくことを要望する」と求めた。市は、同計画を市議会11月定例会に提出する。



第3次袋井市総合計画における進化・変更について

第3次袋井市総合計画に期待されていることなどを整理し、以下の5つの点を中心に、計画自体の在り方を進化・変更させました。

ポイント1 まちの将来像と日本一健康文化都市の整理

「にぎわい ずっと続くまち ふくろい」
まちの健康、豊かなくらぐにずっと続く(持続する)

「日本一健康文化都市」をまちづくりの普遍的な理念として捉えた上で、10年後に袋井市がなりたい姿として、市民の共感を得やすい「まちの将来像」を定める。

ポイント2 将来的な組織も見据えた施策体系の見直し

人口減少社会を前提に、持続可能な発展をしていくため、今後、重点化・一体化する分野を再整理したほか、推進体制(将来的な組織)の方向性も考慮した施策体系に変更。

ポイント3 市民の「実感」を重視したまちづくり

人々が多様な背景や価値観を持っていて、良い状態も一人ひとり異なる時代に合わせて、市民の実感や共感を重視したまちづくりを推進するため、各政策の目標に「主観指標」を採用。

ポイント4 行政経営の基盤強化(行政改革と総合計画の一体化)

「行政経営方針」は、各施策の推進を支える「基盤」として位置付けます

行政経営の基本的な考え方と視点を含む「行政経営方針」を総合計画と一体で定め、各施策の推進を支える「基盤」の強化に取り組む。

ポイント5 まちづくり協議会との連携の充実強化

まちづくり協議会を核としたきめ細かな地域づくりの実現に向けて、総合計画「地域編」に加え、まち協独自の「活動方針」の策定支援を強化。